

船舶事故等調査報告書

平成22年10月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第95号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年3月19日 17時10分ごろ	
発生場所	鹿児島県薩摩川内市川内港 川内港西防波堤南灯台から真方位050° 1,270m付近 (概位 北緯31°51.9′ 東経130°11.8′)	
事故等調査の経過	平成22年6月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第三十一 <sup>たいしやう</sup> 大昭丸、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	133056、宮崎汽船有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底外板凹損、ビルジキール曲損、プロペラ翼欠損	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、捨石を満載し、船首約3.8m、船尾約5.2mの喫水で川内港を出航中、平成22年3月19日17時10分ごろ、岸壁付近の捨石に乗り揚げた。 その後、本船は、自力で航行を続けた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 3 海象：潮汐 上げ潮の初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、川内港を出航中、船長が、水深に十分な余裕のある高潮時を待たなかったことから、海底の捨石に乗り揚げた可能性があると考えられる。 船長は、川内港内の岸壁付近の海底には捨石が存在していることを知っていたが、具体的な位置は知らなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、川内港を出航中、高潮時を待たなかったため、海底の捨石に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	